

## 大学評価学会 第56回研究会の報告

日 時：2018年12月8日（土）午後1時半～5時

場 所：愛知工業大学 本山キャンパス3階（講義室2）

次 第：1）津田 道明（元日本福祉大学）

信州における日本福祉大の高大連携・社会連携と「評価」の問題

2）光本 滋（北海道大学）

大学評価と研究・教育組織

3）蔵原 清人（工学院大学〔名誉〕）

「大学改革と大学評価」をどう進めるか

第56回研究会は、川口洋誉理事のお世話で地下鉄本山駅すぐの愛知工業大学本山キャンパスで開催され、20名弱が集いました。第一報告は、日本福祉大学が長野県松本市に開設した地方事務所（松本オフィス）における津田会員の10年間の活動の中の高大連携・社会連携に関わる活動を検討しながら「大学評価」をどのように考えるかを論じたものでした。

第二報告は、光本会員（招聘された中国講演を終えて帰国したばかり）による報告で、研究・教育組織の設置・廃止等は現代の大学評価の主要な関心事の一つであり、学問の継承・高等教育の機会保障等の問題に対して大学評価論から応えることが必要との問題意識に立ったものでした。第三報告は、蔵原顧問がシリーズ本第8巻『大学改革と大学評価』にも触れながら、大学の意義と社会的役割、大学自治と大学評価、評価の基本、大学の何をのぼすのか、という展開でPPTスライドを用いて報告しました。終了後には名古屋らしいメニューの懇親会がありました。



終了後には名古屋らしいメニューの懇親会がありました。

[文責・渡部]